授業科目	保育方法とメディア					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	末嵜　雅美						
授業概要	この授業では人間形成上極めて重要な幼児期におけるメディア利用について、これまで提唱され実践されてきたすぐれた教育方法とメディアを再考することを通して考える。また、保育者として必要な機器やサービスについても理解する。なお、この授業においては、保育者としてのプレゼン能力を培う手法を積極的に取り入れることや、情報機器を活用した保育資料の作成を行うことを通して、指導の方法を実践的に学ぶ内容となっている。						
授業形態	講義			授業方法	ICT による学習:Google フォームによる振り返り学習、Classroom での課題作成と提出 アクティブラーニング：ディベート、グループディスカッション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．教育方法の基礎的理論・実践を理解し、これから必要な主体的・対話的で深い学びの教育方法が理解できる 2．メディア関連機材を含めた保育を構成する基礎的な要件を理解し、話法等の技術を身につけている 3．乳幼児期の発達を理解した上で「メディア（媒介物）」の活用を考え、保育者として必要な情報サービスの活用技術を習得する 4．情報技術の発展と子育て環境との関係を理解し、保育者としての態度を身につける 5．学習指導理論を踏まえ、ねらいと内容、必要な教材、展開の方法、評価基準の視点を含めた指導案が作成できる
理想的レベル	標準的レベル 1-5 を全て達成した上で、自らの保育目的に最適な教育（保育）方法を考えることができる。 さらに、その教育方法を展開し、情報機器を活用したプレゼンテーションができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	35%	期末レポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物	45%	授業内のワークシート・指定課題提出
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	CH31314J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
シラバスを読んでおく。教育実習３の実習先で、どのような情報機器が使われているか観察しておくこと。	1

授業計画

第 1 回	はじめに(授業についてのガイダンス)、保育におけるメディア環境について、「教育方法」のとらえ方
第 2 回	教育の諸理論と教育方法 (1)主体的・対話的な学びにつながる教育・保育 情報化とアクティブラーニング
第 3 回	教育の諸理論と教育方法 (2)早期教育の様々な方法について 才能を早くから引き出すとされる様々な教育の方法について理解する
第 4 回	保育方法とメディア教材について (1)保育現場で用いられるメディア教材と SNS 活用について
第 5 回	保育方法とメディア教材について (2)PC を用いたプレゼン方法の技術を学ぶ ①保育実践の記録化・可視化、ポートフォリオやドキュメンテーションとは
第 6 回	保育方法とメディア教材について (2)PC を用いたプレゼン方法の技術を学ぶ（実技） ②PowerPoint・PDF を用いたドキュメンテーション作成 　保護者と情報共有できるツールの活用 【授業後に Classroom にて課題の提出】
第 7 回	保育方法とメディア教材について (3)AI を用いた教材作り ①ChatGPT などの生成 AI とは何か・教育現場におけるガイドラインとは
第 8 回	保育方法とメディア教材について (3)AI を用いた教材作り（実技） ②生成 AI の基礎的な使い方
第 9 回	保育方法とメディア教材について (3)AI を用いた教材作り(実技) ③生成 AI を用いた教材作成 【授業後に Classroom にて課題提出】
第 10 回	メディアリテラシーを高める 情報化のリスク・著作権や保育現場における情報の取り扱い
第 11 回	メディア接触と子どもの発達について (1)スマホ・ＰＣ・ゲームの影響を考える アクティブラーニング（ディベート）を行い、幼児や児童のメディア接触について議論する
第 12 回	メディア接触と子どもの発達について (2)子育てとＳＮＳ アクティブラーニング（グループディスカッション）を行い、子育て家庭のネット活用について議論する
第 13 回	メディア接触と子どもの発達 (3)幼児期のネット環境と子育て 11 回・12 回の授業を踏まえ、保育や子育てにおけるネットや SNS の使い方について考える
第 14 回	メディア接触と子どもの発達

	(4)メディアと関わらない保育の方法と子どもの育ち
第 15 回	まとめ－子どもの育ちとメディア活用を考える
テキスト	プリント配布
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内で指示。
課題に対するフィードバックの方法	Classroom で提出する課題については、提出後にコメントします。 ワークシートについても、一部については振り返りの回でまとめてコメントします。 紙で提出されたワークシートは、授業期間後にまとめて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	実習園で、どのような情報機器がどのような場面で使われているか、観察しておきましょう。 子育てや保育に関するネットニュースや記事、教育・保育現場における ICT についての記事などを読み込み、関心を高めておきましょう。